

花と自然がいっぱいのふる里、方城
方城町最後の秋を追ってみました。

笑顔が、緑が、自然がキラキラ  方城町

広報ほろしじょう

11 2005
NOVEMBER
第237号

特集 今年が最後の秋イベントを追って
 “花と温泉の町方城”コスモスフェスタ2005

ふるさとを
花いっぱいのにまちに



風呂ヶ谷の信号から藤の花で有名な定禅寺(藤寺)方面へとくだる坂道の左側と迫地区の田んぼの2カ所に、ピンク・赤・白のコスモスが絨毯のように広がっています。満開に咲いたコスモスの美しさに思わず車を止めて眺める人たちの姿が、「コスモスフェスタ」の開催前から、たびたび見られました。

このコスモスは方城町を花と温泉の町にと活動している「花いっぱい運動の会」のメンバーが、毎年、種を蒔き育てているものです。

「花いっぱい運動の会」
花のまちをつくる



はじめは、平成11年迫地区の人たちが、金田駅からほうじょう温泉までの道沿いに花でいっぱいにしようと休耕田にコスモスの種をまいたことがきっかけでした。

その後、平成14年から「花いっぱい運動の会」も参加して迫地区の人たちと一緒に、「花と温泉の町方城」を目標に活動を続けてきました。現在、メンバーは100人を超え、香月光男さんが会長を務めています。

会では、4月の定禅寺(藤寺)の藤まつりに寺の前の迫池に大きな花いかだを浮かべて、藤見物に訪れる見物客を楽しませています。

また、弁城伊方地区の公園や道沿いにある花壇に季節ごとの花を植えています。これはメンバーだけでなく、各地区の住民もボランティアで参加しています。

今後の活動について、事務局長の新免真人さんは、「来年の方城町の閉町式に合わせて、昔風呂ヶ谷から藤寺方面の道沿いにあつた桜並木を復元すること。もうひとつ町民グラウンド周辺に、桜の木をたくさん植栽して町民のための憩いの場を完成したいですね。これから桜の木オーナーも募集する予定にしています。」と話してくれました。

またひとつ、方城町に名所が増える予定です。

色とりどりに咲いた
コスモスにカ・ン・ド・ウ



10月23日、今年で5回目を迎えた「コスモスフェスタ2005」が迫地区のコスモス畑を会場に開かれました。

花いっぱい運動の会メンバーが朝から準備した熱々のしし鍋が好評で、「おいしいね」と口に頬ばる見物客に笑顔がこぼれていました。

また、さつま芋掘り、下駄飛ばし大会、ビールラムネの早飲み大会などの楽しいイベントも用意されていました。ビールラムネの早飲み大会では、ノドに自信のある挑戦者の豪快な飲みっぷりと、早さに観客たちから笑いどろき声が上がっていました。

